

BTMU (CHINA) 北京週報特別号

Weekly Special

中国共産党第十七期党大会特集(2) 党大会における人事異動

1、中共中央政治局常務委員

中国共産党第17期全国代表大会は21日に閉幕し、中央委員会は大会閉幕翌日の22日に1回目の全体会議を開き、中央政治局及び政治局常務委員を選出した。胡錦涛総書記をはじめ、新たに選出された9人の中央政治局常務委員は恒例の記者会見に臨んだ。政治局常務委員の9人は以下の通りである(カッコは年齢)。

胡錦涛(65)、呉邦国(66)、温家宝(65)、賈慶林(67)、李長春(63)、習近平(54)、李克強(52)、賀国強(64)、周永康(65)。

メンバー構成をみると、党大会以降も胡 - 温体制をベースとした指導体制を維持しているが、呉邦国氏、賈慶林氏(いずれも上海グループ)も職に留まった。前々から注目されていたポスト胡錦涛と呼ばれる李克強・遼寧省書記と習近平・上海市書記の若手二人について、李氏は胡錦涛総書記の抜擢、習氏(元全人代副委員長・習仲勳の息子)も江沢民氏ら長老の支持により、政治局常務委員に異例の二階級特進を果たした。また、曾慶紅・国家副主席(68)のほか、68歳の定年基準に達した羅幹氏(72) 呉官正氏(69)ともに引退することになった。

党大会の中央政治局常務委員履歴(数字は序列)

	氏名	生年月	満年齢	兼任職
常務委員	1、胡錦涛 (Hu JinTao)	1942年12月	65歳	党総書記、国家主席、 軍事委主席
	2、呉邦国 (Wu BangGuo)	1941年7月	66歳	全人代委員長
	3、温家宝 (Wen JiaoBao)	1942年9月	65歳	総理
	4、賈慶林 (Jia QingLin)	1940年3月	67歳	政治協商会議主席

5、李長春 (Li ChangChun)	1944年2月	63歳	党宣伝・広報担当
6、習近平 (Xi JinPing)	1953年6月	54歳	上海市書記、党中央 政治局書記処書記
7、李克強 (Li KeQiang)	1955年7月	52歳	遼寧省書記
8、賀国強 (He GuoQiang)	1943年10月	64歳	党組織部長
9、周永康 (Zhou YongKang)	1942年12月	65歳	公安相

2、政治局委員(9人の政治局常務委員を除く16人)

王剛 王樂泉 王兆国 王岐山 回良玉(回族) 劉淇 劉雲山 劉延東(女性) 李源潮
汪洋 張高麗 張徳江 俞正声 徐才厚 郭伯雄 薄熙来

選出委員のうち、王剛(前候補委員・中央弁公庁主任)、王岐山(北京市長)、劉延東(政協副主席・女性)、李源潮(江蘇省書記)、汪洋(重慶市書記)、張高麗(天津市書記)、徐才厚(軍事委副主席)、薄熙来(商務部長)の8人が新たに選ばれ、前委員の呉儀副首相(68)のほか、曾培炎副首相(68)、曹剛川国防相(71)が引退した。

政治局委員は重要な省書記や、副総理と党中央部長クラスの人物が選ばれるのが一般的で、今回、王岐山氏(元副総理・姚依林の縁戚)、薄熙来氏(元副総理・薄一波の息子)の選出が特に注目される。

	氏名	生年月	満年齢	兼任職
委員	王剛 (Wang Gang)	1942年10月	65歳	中央直屬機關工作委員會書記
	王樂泉 (Wang LeQuan)	1944年12月	63歳	新疆ウイグル自治区書記
	王兆国 (Wang ZhaoGuo)	1941年7月	66歳	全人代副委員長 総工会(労働組合)主席
	王岐山 (Wang QiShan)	1948年7月	59歳	北京市長
	回良玉 (Hui LiangYu)	1944年10月	62歳	副総理
	劉淇 (Liu Qi)	1942年11月	65歳	北京市書記
	劉雲山 (Liu YunShan)	1947年7月	60歳	党中央政治局書記処書記、宣伝部長
	劉延東 (Liu YanDong)	1945年11月	62歳	全国政治協商会議副主席、党統一戦線部長
	李源潮 (Li YuanChao)	1950年11月	57歳	江蘇省書記、党中央政治局書記処書記
	汪洋 (Wang Yang)	1955年3月	52歳	重慶市書記

	張高麗 (Zhang GaoLi)	1946年11月	61歲	天津市書記
	張德江 (Zhang DeJiang)	1946年11月	61歲	広東省書記
	俞正声 (Yu ZhengSheng)	1945年4月	62歲	湖北省書記
	徐才厚 (Xu CaiHou)	1943年 6 月	64歲	軍事委副主席
	郭伯雄 (Guo BaoXiong)	1942年7月	65歲	軍事委副主席
	薄熙来 (Bo XiLai)	1949年7月	58歲	商務部長

(北京支店作成)

以上